

序論 教養記述対策について

1. ほとんどの職種で出題される

裁判所事務官を除く専門職種は× 例：法務省、国税・財務、労基
国立大学法人等職員×
ほとんどの地方公務員は○

2. 論文と作文の違い

- ・論文…社会の問題に対するもの
例：福祉、教育、環境、観光
- ・作文…自分の想い・考え
例：「目指す公務員像」「あなたが○○職員になったらやりたいこと」

3. 制限字数・制限時間

もっとも短いもので 400 字（30 分）から、長いもので 2000 字、あるいは字数制限のないものまでと様々。平均的には 60 分、800～1000 字というところ。

4. 教養記述で問われること

受験者の勤労観・文章能力および理解力などを通じて、知性・教養・事務能力（文章作成能力）を総合的に判断する



- ・問題文の読解
- ・問い合わせる
- ・自分で考える
- ・考えを伝える

5. 「読みやすい」かどうかが超重要

∴ 1通あたりの採点時間はほんの数分

- ①日本語として正しく書けている（句読点、文字、主語述語、常体敬体）
- ②採点者が予定（予想）しているパターン（順序）
- ③問い合わせていている
- ④論理性 二段階構成が基本

問題点+解決策

事実+意見 ※事実と意見を書き分ける

- ⑤相手に予断を与える

番号（数字）をつける、見出しをつける

- ⑥1文は短く。1つの「。」には1つの内容

- ⑦「心の問題にする」と「過去に意見する」はNG

- ⑧具体的≠具体例

- ⑨作文の場合の注意点

面白い話題を選ぶ

事例を具体的に示す（いつ、どこで、誰が、何を…）

事実と意見を書き分ける

自分の意見や態度を明確にする

発展的・建設的な結論にする

6. 教養記述対策としてすべきこと

- ①文章を読む
- ②手を動かす
- ③ネタの仕入れ（時事対策）
- ④とにかく書く